

2016年度(平成28年度) 新シニア育成講座 開講の募集について(10月募集開始分)

募集概要 (各科目共通事項)

受講資格	産業カウンセラー資格を有し、学びを継続しながら今後産業カウンセラーとして実践活動することを目指し能力向上に意欲を持って取り組める者。 協会に資格登録をしている会員であること。
募集期間	2016年10月19日(水)～2016年10月30日(日) ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。 ※定員に満たない場合は募集期間を延長します。 延長は協会本部ホームページの記載の確認もしくはお問い合わせください。
申込方法	①会員マイページから、またはメールでの申し込みとなります。 郵送・FAXでの申し込みは原則として受け付けません。 申込先は開催を主催する本部または支部になります。 なお申込書式は協会ホームページからダウンロードしてください。 http://www.counselor.or.jp/course/tabid/138/Default.aspx ②受講確認メールを受信後に、振込先へ受講料を振り込んでください。 ③受講料の入金を確認した時点で申し込み完了メールを発信し、受講が確定します。
申込先	講座によって申込先が違いますので各科目の申込先をご覧ください。
振込先	受講確認メールに記載されます。ただし講座によっては振込先通知前に、再度受講の条件について了承の確認をさせていただく場合があります。
キャンセル	受講料入金確認をもって受講申込み完了となります。キャンセルについては3月号別冊②もしくは協会本部ホームページに掲載している新シニア育成講座の受講約款をご参照ください。 なお、キャンセル・欠席された場合、講座当日以降に配布されるレジュメ・資料の配付はございません。
受講条件	次の条件に満たない場合は受講をお断りする場合があります。 ・協会とメールの送受信ができること。 レポート等のやりとりのため、データファイルの送受信可能なアドレスをご用意ください。 (ケータイ・スマホのみは不可) ・期日までに受講申込みおよび入金が完了されていること。 ・事前学習で必須に指定されている図書については読了していること。 ・事前課題(設定科目の場合)の作業が講座の開始前に指定どおり完了していること。 ・守秘義務に関する誓約書に署名し受講前に提出していること。
修了認定条件	新シニア育成講座では各科目とも、実習・グループ討議を非常に重視していますので、全日程・全時間の連続した出席が必須となります。 事前課題について期日までの事前提出もしくは当日の持参(設定科目の場合)、講座への連続した全時間の出席、講座の到達目標の修得、修了レポートの完了をもって修了となります。 前述の条件を満たさない場合、または講師による最終的な評価が一定の基準に達していない場合は未修了となります。 その場合、当該科目の単位取得のためには再受講が必要になります。

守秘義務の遵守について	新シニア育成講座では実習やグループ討議において受講者の自己開示がなされたり実際のケースを扱う場合があり、その内容を講座外で公表することは禁止します。また各科目的講座内容はすべて日本産業カウンセラー協会の著作物であり、写真撮影、録画、録音およびWEB、SNS、Facebook、Twitter等への記載・転載、さらに二次利用は禁止します。安全な場を確保するため、守秘義務に関する誓約書に署名捺印の上、ご提出いただきます。 なお受講時に許可無く撮影、録音された場合は、記録媒体を回収の上で直ちにご退出いただき、当該科目は未修了となります。
その他	すでにシニア産業カウンセラー資格をお持ちの方でも受講は可能です。 ご不明な点は協会本部 育成・研修部・シニア講座担当者（電話：03-3438-4568）までお問い合わせください。
資格登録制度	1日6時間の科目については、出席1日あたり5ポイント、6時間を超える科目は7ポイントが付与されます。

本部開催分（協会本部へお申し込みください）

募集概要（1）

講座名	科目No.1：認知行動療法
講師	福井 至（東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 教授）
時間数／単位数	18時間（講義3、実習12、グループ討論3）（自習5時間程度）／3単位
日時・場所	2016年12月23日（金・祝）、24日（土）、25日（日）・3日間 CIVI研修センター新大阪東（大阪市東淀川区東中島1-19-4） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	30名（最少催行人数：10名） 46,440円（税込）
申込先	協会本部 育成・研修部（senior@counselor.or.jp）
講座概要および目的	来談者中心療法は大変に有効な方法であるが、それのみではカウンセリングの展開が困難な場合もある。そのような場合に、認知行動療法に含まれる方法である論理情動療法を来談者中心療法に付け加えると、問題解決に至れる場合も多々ある。 また2010年よりうつ病の認知療法・認知行動療法が、2016年には不安障害の認知療法・認知行動療法も保険点数化された。そのためカウンセラーも、どのようにそれらの心理療法が実施されているか、理解していかなければならない時代となった。 さらに実際の産業カウンセリング場面においては、双極性障害やPTSDの方への対応も考えられ、そのような障害に対する認知行動療法の要点を知っておいた方がよい場合もありうる。 そのため、論理情動療法や、うつ病の認知療法・認知行動療法について実施できるようになること、双極性障害や各種不安障害の認知行動療法の実施法についてはその要点を理解できるようになることを目的とする。
到達目標	認知行動療法を用いたカウンセリングである認知行動カウンセリングができるようになることを到達目標とする。
事前学習	日本認知療法学会のホームページにある認知療法・認知行動療法マニュアル（ http://jact.umin.jp/manual.shtml ）および別途指定する課題図書を読み、理解できることや興味が持てたこと、および疑問点や質問したいことなどをレポートする。2000文字以上2200文字以下、受講2週間以前に提出。
修了条件	修了レポート 3000文字程度、受講後2週間以内に提出する。テーマは講座終了時に出題する。
その他	ワークにおける発言内容の守秘義務を負うことになるので、その点を了承して参加すること。

募集概要（2）

講座名	科目No.17：人間関係形成の実践的理
講師	渡邊忠（元・文教大学教授、協会シニア・アドバイザー）
時間数／単位数	6時間（講義2、グループ討議4）（自習3時間程度）／1単位

日時・場所	2016年12月11日(日)・1日間 新大阪丸ビル新館(大阪市東淀川区東中島1-18-27) 9:30開場、10:00開始、17:00終了(昼食1時間)
定員・費用	18名(最少催行人数:12名) 16,200円(税込)
申込先	協会本部 育成・研修部 (senior@counselor.or.jp)
講座概要および 目的	産業カウンセラーが、コンサルタント、コーディネーターやファシリテーターとして企業等組織にかかわるには、経営幹部や管理職、人事労務担当者、産業保健スタッフなどとの間で「この人なら……」と思ってもらえる信頼関係を築く必要がある。そのような関係を形成するには、人間関係に関するさまざまな研究の知見を知り、それらを実践的に応用することができなければならない。このスキルは、職場のリーダーシップや人間関係について教授する場合や、カウンセリング面接でのクライエントとのラポートづくりにも有用なものである。 本講座では、人間関係形成およびその主要なツールである対人コミュニケーションに関するさまざまな実践的理論や技能を事前学習、グループ討議、実習を通じて習得することを目的とする。
到達目標	人間関係形成およびその主要なツールである対人コミュニケーションについての実践的理論に基づく技能を身に付け、コンサルテーションなどの場面で組織担当者との信頼関係づくりや研修の場で応用できるようになることを目指す。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読みすること。 2. 別途指定する課題を行ってること。
修了条件	1. 事前課題 2. 修了レポート 2000字程度 受講後2週間以内に提出する。 テーマは講座終了時に出題する。

東関東支部開催分(東関東支部へお申し込みください)

募集概要(3)

講座名	科目No.12:セルフキャリア開発
講師	石川 邦子(当協会認定講師)
時間数/単位数	6時間(グループ討議2、演習4)(自学習3時間程度) / 1単位
日時・場所	2016年12月23日(金・祝)・1日間 パリ総合美容専門学校 柏校(柏市柏3-4-7) 9:30開場、10:00開始、17:00終了(昼食1時間)
定員・費用	18名(最少催行人数:10名) 16,200円(税込)
申込先	東関東支部 研修部 (kenshu@co-higashikanto.jp)
講座概要および 目的	シニア産業カウンセラーとして、クライエントが人生を創造していくことを支援する者として信頼されるためには、カウンセラー自身が自己のキャリアに関心を持ち、主体的にキャリアを築いていく必要がある。このため、自分自身の人生を肯定的に振り返り、将来に興味・関心を持って適応していく力を身に付けることを目的とする。 この講座では、他者のキャリア開発をモデルに自分自身のキャリアをイメージする。指定事例(自営、企業内カウンセラー、経営管理者、人事労務担当、地域などの活動の事例)についてグループで討議する。 次に自分自身の経験を振り返り肯定的に再確認したうえで、現状の環境と自身のリソースを確認して、その中でどのように今後のキャリアを築いていくかを計画する。
到達目標	他者のキャリア開発モデルの中から、自身のロールモデルになる部分を見出し、自分の過去を肯定的に受け入れ、現在の自己のCAN・WHATS・NEEDSを整理して、今後のキャリアをデザインしていくことを到達目標とする。自分自身のキャリアビジョンを明確に持つことで、他者のキャリア支援ができる土台を築くことを到達目標とする。

事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了する。 2. 別途指定するキャリア開発事例を読了する。 3. 自身の周囲にいる産業カウンセラーとして仕事に従事している方に依頼をしてキャリアインタビューを実施し、まとめる。 4. 配布するシートに自身のこれまでのキャリアをまとめる。
修了条件	1. 事前課題を行い、当日持参する。 2. 修了レポート 講座終了時に出題される 2 つのテーマについてそれぞれ 1500 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	科目 No.9 「キャリア開発領域の事例検討および実習」の受講前にこちらを先に受講しておくことを強く推奨します。 キャリアデザインおよびキャリア支援に興味があり、基礎的な知識を有する方を対象とします。

東京支部開催分（東京支部へお申し込みください）

募集概要（4）

講座名	科目No.12：セルフキャリア開発
講師	石川 邦子（当協会認定講師）
時間数／単位数	6 時間（グループ討議 2、演習 4）（自習 3 時間程度）／1 単位
日時・場所	2017 年 1 月 21 日（土）・1 日間 東京支部 代々木教室（渋谷区千駄ヶ谷 4-2-12 菓化代々木ビル 4F） 9:30 開場、10:00 開始、17:00 終了（昼食 1 時間）
定員・費用	18 名（最少催行人数：10 名） 16,200 円（税込）
申込先	WEB 申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	シニア産業カウンセラーとして、クライエントが人生を創造していくことを支援する者として信頼されるためには、カウンセラー自身が自己のキャリアに関心を持ち、主体的にキャリアを築いていく必要がある。このため、自分自身の人生を肯定的に振り返り、将来に興味・関心を持って適応していく力を身に付けることを目的とする。 この講座では、他者のキャリア開発をモデルに自分自身のキャリアをイメージする。指定事例（自営、企業内カウンセラー、経営管理者、人事労務担当、地域などの活動の事例）についてグループで討議する。 次に自分自身の経験を振り返り肯定的に再確認したうえで、現状の環境と自身のリソースを確認して、その中でどのように今後のキャリアを築いていくかを計画する。
到達目標	他者のキャリア開発モデルの中から、自身のロールモデルになる部分を見出し、自分の過去を肯定的に受け入れ、現在の自己の CAN・WHATS・NEEDS を整理して、今後のキャリアをデザインしていくことを到達目標とする。自分自身のキャリアビジョンを明確に持つことで、他者のキャリア支援ができる土台を築くことを到達目標とする。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了する。 2. 別途指定するキャリア開発事例を読了する。 3. 自身の周囲にいる産業カウンセラーとして仕事に従事している方に依頼をしてキャリアインタビューを実施し、まとめる。 4. 配布するシートに自身のこれまでのキャリアをまとめる。
修了条件	1. 事前課題を行い、当日持参する。 2. 修了レポート 講座終了時に出題される 2 つのテーマについてそれぞれ 1500 字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	科目 No.9 「キャリア開発領域の事例検討および実習」の受講前にこちらを先に受講しておくことを強く推奨します。 キャリアデザインおよびキャリア支援に興味があり、基礎的な知識を有する方を対象とします。